

吸収合併に係る事前開示書類

(会社法第 794 条第 1 項及び同法施行規則第 191 条に定める書面)

2024 年 2 月 22 日

大日本塗料株式会社

2024年2月22日

吸収合併に係る事前開示事項

大阪市中央区南船場1丁目18番11号
大日本塗料株式会社
代表取締役社長 里 隆幸

当社は、2024年1月31日付でジャパンパウダー塗料製造株式会社（以下「JPCM」といいます）との間で締結した吸収合併契約書に基づき、2024年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、JPCMを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」といいます）を行うこととしました。

本合併に関し、会社法794条第1項及び同法施行規則第191条に定める事項は下記のとおりです。

記

1. 吸収合併契約の内容（会社法第794条第1項）

別紙1のとおりです。

2. 合併対価の相当性に関する事項（会社法施行規則第191条第1号）

JPCMは当社の完全子会社であることから、当社は本合併に際して株式その他の金銭等の交付は行わないこととしました。

3. 新株予約権の定めに関する事項（会社法施行規則第191条第2号）

該当事項はありません。

4. 吸収合併消滅会社に関する事項（会社法施行規則第191条第3号）

(1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容

別紙2のとおりです。

(2) 最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

(3) 最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

J P C Mは、2023 年 4 月 27 日付で久保孝ペイント株式会社が保有する J P C Mの全株式 4,900 株を取得しております。

これにより、当社は J P C Mを完全子会社化しております。

5. 吸収合併存続会社において最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容（会社法施行規則第 191 条第 5 号）

該当事項はありません。

6. 吸収合併が効力を生ずる日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項（会社法施行規則第 191 条第 6 号）

本合併の効力発生日後の当社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本合併の効力発生日以後の当社の収益状況及びキャッシュフローの状況について、当社の債務の履行に支障を及ぼす事態は、現在のところ予測されておられません。

したがって、本合併の効力発生日後における当社の債務について、履行の見込みがあるものと判断いたします。

以上

合併契約書

大日本塗料株式会社(以下「甲」という)とジャパンパウダー塗料製造株式会社(以下「乙」という)とは、以下のとおり合併契約(以下「本契約」という)を締結する。

第1条(存続会社及び消滅会社)

- 1 甲と乙は、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社として合併(以下「本合併」という)し、甲が乙の権利義務の全部を承継して存続し、乙は解散する。
- 2 吸収合併存続会社及び吸収合併消滅会社の商号及び住所は、次のとおりである。

吸収合併存続会社(甲)

商号 大日本塗料株式会社

住所 大阪府中央区南船場1丁目18番11号

吸収合併消滅会社(乙)

商号 ジャパンパウダー塗料製造株式会社

住所 愛知県小牧市大字三ツ淵字西之門878番地

第2条(無対価合併)

本合併は、完全親会社である甲と完全子会社である乙との合併であることから、無対価合併とし、甲は、本合併に際し、乙の株主に対してその有する株式に代わる金銭等を交付しないものとし、乙の株式は、効力発生日に消滅することとする。

第3条(増加すべき資本金及び準備金等)

本件は無対価合併につき、本合併により甲の資本金及び準備金の額は増加しない。

第4条(合併の効力発生日)

本合併の効力発生日は2024年4月1日とする。ただし、合併手続の進行上必要がある場合、甲及び乙が協議の上、これを変更することができる。

第5条(権利義務全部の承継)

甲は、効力発生日において、乙の資産及び負債その他一切の権利義務を承継する。

第6条(合併承認)

- 1 甲及び乙は、本合併は、甲にとって簡易合併、乙にとって略式合併の要件を満たすことを相互に確認する。
- 2 甲及び乙は、効力発生日の前日までに、それぞれ本契約の承認及び本合併に必要な事項に関する機関決定を行うものとする。

第7条（善管注意義務）

甲及び乙は、本契約締結後効力発生日に至るまで、善良な管理者の注意をもってその業務の執行及び財産の管理、運営を行い、その重要な財産又は権利義務に重大な影響を及ぼす行為については、あらかじめ甲及び乙が協議の上、これを行う。

第8条（条件の変更、解除）

甲又は乙は、本契約締結後効力発生日に至るまでに、天災地変その他の事由により、甲又は乙の資産、負債、経営の状況など本契約締結の前提となる事情に重大な変動が生じたとき、又は隠れたる重大な瑕疵があったことが発覚したときは、甲乙協議の上、本契約の条件を変更し、又は本契約を解除することができる。

第9条（本契約の効力）

本契約は、第6条第2項に定める甲及び乙の適法な機関決定並びに法令に定める関係官庁等の承認が得られないときは、その効力を失う。

第10条（誠実協議）

本契約に定めのない事項又は本契約の各条項の解釈に疑義が生じたとき、甲及び乙は、誠意をもって協議し速やかに解決をはかるものとする。

本契約締結の証として本書1通を作成し、甲乙記名押印の上、甲が保管し、その写しを乙が保有する。

2024年1月31日

甲：大阪市中央区南船場1丁目18番11号
大日本塗料株式会社
代表取締役社長 里 隆幸

乙：愛知県小牧市大字三ツ渕字西之門878番地
ジャパンパウダー塗料製造株式会社
代表取締役社長 山口 貴司

第 9 期 報 告 書

2022年 4月 1日から

2023年 3月31日まで

1. 事業報告及びその附属明細書

2. 計算書類及びその附属明細書

① 貸 借 対 照 表

② 損 益 計 算 書

③ 株主資本等変動計算書

④ 個 別 注 記 表

ジャパンパウダー塗料製造 株式会社

事業報告及びその附属明細書

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月 31日

ジャパンプウダー塗料製造株式会社

第9期 事業報告

2022年 4月 1日から

2023年 3月 31日まで

1. 事業の経過及びその成果

当期間における全社の業績は表1の通り、販売数量、売上高、においては前年実績を上回りましたが、営業利益、経常利益は減益、計画比は販売数量、売上高、営業利益、とも未達に終わりました。

表1. 当期の実績と前年比、一覧

単位:数量 t 金額 百万円

	計画	実績	前年実績	前年実績比 (%)
販売数量	9,750	9,528	9,455	101
売上高	6,589	6,463	5,781	112
製造経費	1,738	1,692	1,598	106
売上総利益	58	42	94	45
営業利益	15	3	46	6
経常利益	16	4	42	9

当社の通期の販売数量は9,528t、売上高は6,463百万円で、数量計画比98%、売上計画比98%となりました。前年実績比では数量101%、売上112%の結果となりました。

販売数量は小牧工場については計画比△235t、達成率95%、兵庫工場においては計画比+13t、達成率100%となり全体の達成率は98%でした。

上期は小牧工場については販売数量計画未達。DNT出向者の退職給付金が好転、消耗工具費を生産見合いコントロールしたが、保留品を20百万円廃棄したことで営業利益△11百万円。

兵庫工場は販売数量で△92tとなりましたが、製造経費削減で△14百万円となったが、保留品を22百万円廃棄したことで営業利益は△16百万円となりました。

下期は、小牧工場については数量△108tと計画比マイナスとなりましたが、DNTの高付加価値品の販売が好調を維持したことにより、保留品廃棄12百万円をカバーし、営業利益は12百万円となりました。兵庫工場については、下期生産が好調となり数量+105tと計画に対し増加となりました。保留品廃棄を△19百万円実施しましたが、営業利益は18百万円となりました。

以上の結果、当期間における業績は、全体売上高64億63百万円(前年比112%)、営業利益3百万円、経常利益4百万円となりました。

【小牧工場】

販売計画4,765tに対し、実績4,530t(計画比95%)となりました。内訳はDNT品が計画4,506tに対し実績4,236t(計画比94%)、KPG品が計画259tに対し実績293t(計画比113%)であり、上期のコロナ影響

による作業者欠員、下期の設備トラブルで計画未達となりました。販売数量は前期比 98%となりましたが、売上高は 3,086 百万円(前期比 111%)DNTの高付加価値品が好調であったことが要因となります。製造経費については計画 844 百万円、実績 826 百万円の△18 百万円となりました。消耗工具費、出向者退職給付費用の好転が経費減の主な要因です。

以上のことから、通期での数量△235t であったが、DNT品の高付加価値品が通期で、販売好調であったことから赤字計画が黒字となり、営業利益は 1 百万となりました。

【兵庫工場】

販売計画 4,985t に対し、実績 4,998t(計画比 100%)で+13t となりました。上期は、コロナ影響での欠員が多く数量減となりましたが、品質不良は改善傾向となり、安定した生産稼働が出来るようになりました。しかし安全面においては、不休業災害を 2 件発生させてしまいました。

製造経費は 866 百万円と、計画比△28 百万円となりましたが、計画設定時より動燃費単価がアップしなかったこと、人員補充が進まず人件費が計画減となったことが主な要因となっている。

結果、営業利益は 2 百万円となりました。

以上

事業報告に係る附属明細書

1. 会社の株主に関する事項

- (1) 発行済株式の総数 10,000 株
 (2) 株主数 2 名
 (3) 株主名

大株主名	持株数 株	構成比 %
大日本塗料株式会社	5,100	51.0
久保孝ペイント株式会社	4,900	49.0
合 計	10,000	100.0

2. 役員の状況

	常勤役員	非常勤役員
代表取締役社長	0名	1名
取締役	1名	3名
監査役	0名	2名
合 計	1名	6名

3. 従業員の状況

従業員数		臨時従業員数		合計		従業員増減		臨時従業員増減	
男子	114名	24名	24名	138名	5名	5名	1名	1名	
女子	7名	2名	2名	9名	0名	0名	0名	0名	
合 計	121名	26名	26名	147名	5名	5名	1名	1名	

(注) 従業員数は、就業人員(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。)であり、臨時雇用者数は、パート・アルバイト・契約社員・派遣社員・リワーク・準社員・嘱託・委託を含んで記載しております。

以上

計算書類及びその附属明細書

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月 31日

ジャパ°ンパ°ウダ°ー塗料製造株式会社

貸借対照表

2023年3月31日現在

ジャパンパウダー塗料製造株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部	円	負 債 の 部	円
流 動 資 産	<u>3,182,520,961</u>	流 動 負 債	<u>2,455,414,170</u>
売 掛 金	2,455,042,013	支 払 手 形	357,500
半 製 品	111,632,124	設 備 支 払 手 形	39,193,000
仕 掛 品	45,607,121	買 掛 金	2,177,373,888
原 材 料	172,442,258	未 払 金	130,790,547
貯 蔵 品	165,770,946	設 備 未 払 金	3,850,000
前 払 費 用	10,092,316	未 払 費 用	88,553,687
未 収 入 金	2,864,185	未 払 法 人 税 等	2,182,300
CMS 預 け 金	218,872,265	預 り 金	2,037,348
立 替 金	197,733	未 払 消 費 税 等	11,075,900
固 定 資 産	<u>604,782,386</u>	固 定 負 債	<u>105,900,001</u>
有 形 固 定 資 産	<u>563,869,270</u>	退 職 給 付 引 当 金	105,900,001
建 物	84,737,806		
構 築 物	268,589		
機 械 及 び 装 置	459,307,982		
車 両 運 搬 具	1,657,301		
工 具、器 具 及 び 備 品	17,897,592		
投資その他の資産	<u>40,913,116</u>		
繰 延 税 金 資 産	40,913,116		
		負 債 合 計	2,561,314,171
		純 資 産 の 部	
		株 主 資 本	<u>1,225,989,176</u>
		資 本 金	<u>100,000,000</u>
		資 本 剰 余 金	<u>1,159,464,443</u>
		そ の 他 資 本 剰 余 金	1,159,464,443
		利 益 剰 余 金	<u>△ 33,475,267</u>
		そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 33,475,267
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 33,475,267
		純 資 産 合 計	1,225,989,176
資 産 合 計	3,787,303,347	負 債 ・ 純 資 産 合 計	3,787,303,347

損 益 計 算 書

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月 31日

ジャパンパウダー塗料製造株式会社

科 目	金 額	
	円	円
売 上 高		6,463,445,208
売 上 原 価		6,421,640,651
売 上 総 利 益		41,804,557
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		39,296,795
営 業 利 益		2,507,762
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 割 引 料	634,333	
そ の 他 の 営 業 外 収 益	770,272	1,404,605
営 業 外 費 用		
支 払 利 息 及 び 割 引 料	70,922	70,922
経 常 利 益		3,841,445
特 別 損 失		
固 定 資 産 処 分 損	6,669,519	6,669,519
税 引 前 当 期 純 損 失		2,828,074
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	9,352,700	
法 人 税 等 調 整 額	20,714,640	30,067,340
当 期 純 損 失		32,895,414

第9期 期末 株主資本等変動計算書

当事業年度 (2022年4月1日～2023年3月31日)

ジャパンパウダー塗料製造株式会社

(単位：円)

	株 主 資 本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	純資産合計	
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
当 期 首 残 高	100,000,000	1,159,464,443	1,159,464,443	△ 579,853	△ 579,853	1,258,884,590	1,258,884,590	
事業年度中の変動額		0	0		0	0	0	
当期純損失(△)								
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)				△ 32,895,414	△ 32,895,414	△ 32,895,414	△ 32,895,414	
事業年度中の変動額合計	0	0	0	△ 32,895,414	△ 32,895,414	△ 32,895,414	△ 32,895,414	
当 期 末 残 高	100,000,000	1,159,464,443	1,159,464,443	△ 33,475,267	△ 33,475,267	1,225,989,176	1,225,989,176	

個別注記表

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
主として総平均による原価法(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定しております。)
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ①有形固定資産：定額法によっております。なお、主な耐用年数は以下の通りであります。
- | | |
|-----------|--------|
| 建物及び構築物 | ：主に26年 |
| 機械及び装置 | ：主に 8年 |
| 車両運搬具 | ：主に 4年 |
| 工具、器具及び備品 | ：主に 3年 |
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 会計処理の変更

該当事項はありません。

3. 貸借対照表に関する注記

- | | |
|----------------------|-----------------|
| (1) 有形固定資産の減価償却累計額 | 1,272,325,086 円 |
| (2) 関係会社に対する金銭債権及び債務 | |
| 短期金銭債権 | 2,676,561,271 円 |
| 短期金銭債務 | 2,241,126,144 円 |

4. 損益計算書に関する注記

- 関係会社との取引高
- | | |
|----------------|-----------------|
| (1) 営業取引による取引高 | |
| 売上高 | 6,463,445,208 円 |
| 仕入高 | 4,635,367,188 円 |
| その他の営業取引高 | 588,808,102 円 |
| (2) 営業取引以外の取引高 | 705,251 円 |
- *関係会社との取引高は関西ペイント、久保孝ペイント、大日本塗料及び大日本塗料の関係会社との取引高であります。

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 発行済株式の総数 | 普通株式 10,000 株 |
|--------------|---------------|

6. 1株当たり情報

- | | |
|------------|--------------|
| 1株当たり純資産額 | 122,598円92 銭 |
| 1株当たり当期純損失 | 3,289円54 銭 |

7. 重要な後発事象

該当事項はありません。

以上

計算書類に係る附属明細書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価格	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却費	期末 帳簿価格	当期末償却 累計額
有形 固定 資産	建物	69,929,690	23,356,000	0	8,547,884	84,737,806	53,178,192
	構築物	308,825	0	0	40,236	268,589	1,196,946
	機械及び装置	492,011,773	85,319,000	3,132,517	114,890,274	459,307,982	1,147,039,345
	車両運搬具	9	1,850,000		192,708	1,657,301	5,996,837
	工具、器具及び備品	6,666,118	14,421,000	2	3,189,524	17,897,592	64,913,766
	建設仮勘定	0	8,450,000	8,450,000	0	0	0
	計	568,916,415	133,396,000	11,582,519	126,860,626	563,869,270	1,272,325,086

監査報告書

私たち監査役は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第9期事業年度の取締役の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果につき、以下の通り報告致します。

但し、2022年6月20日付で監査役に就任しました木村直之は、就任前の期間における監査事項につき、前任監査役から説明を聞くとともに重要な書類を閲覧し、取締役等から報告を受け、監査致しました。

1. 監査の方法及びその内容

私たちは、対面及びテレビ会議方式の取締役会に出席し、取締役から、その職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、また必要に応じて取締役及び使用人等と意思疎通及び情報の収集を図り、その業務及び財産の状況について調査致しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討致しました。

さらに、会計帳簿等の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討致しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。


(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年4月20日

ジャパンパウダー塗料製造株式会社

監査役

木村直之 

監査役

草壁徳保 